

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成24年8月2日(2012.8.2)

【公表番号】特表2011-513808(P2011-513808A)

【公表日】平成23年4月28日(2011.4.28)

【年通号数】公開・登録公報2011-017

【出願番号】特願2010-547162(P2010-547162)

【国際特許分類】

G 06 F 12/10 (2006.01)

【F I】

G 06 F 12/10 507Z

G 06 F 12/10 551Z

G 06 F 12/10 553Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月18日(2012.6.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

仮想アドレスをコンピュータ・システム内の主ストレージ内のデータのブロックの変換後アドレスに変換することのできる動的アドレス変換機構内の変換例外を修飾する方法であって、

変換すべき仮想アドレスを得ること、

前記仮想アドレスを主ストレージ内のデータの所望のブロックの実アドレスまたは絶対アドレスに動的に変換すること、および

前記仮想アドレスの動的アドレス変換中に発生した変換例外割込みイベントに応答して、前記変換例外が、ホスト・プログラムを実行中に発生したホストD A T例外と、ゲスト・プログラムを実行中に発生したホストD A T例外の一方であったことを示すビットを変換例外修飾子内に格納すること、

前記ホストD A T例外が関係するゲスト・フレームのサイズ、および前記ゲスト・フレームを支持するために割り振るべきホスト・フレームのサイズのいずれかを示すビットを前記変換例外修飾子内に格納すること

を含む方法。

【請求項2】

前記変換例外が、前記ゲスト・プログラムを実行中に発生したゲストD A T例外であったことを示すビットを前記変換例外修飾子内に格納することをさらに含む請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記ホストD A T例外が、ゲスト・リーフ・テーブル・エントリから導出されたアドレスに関係したことを示すビットを前記変換例外修飾子内に格納することをさらに含む請求項1または2に記載の方法。

【請求項4】

前記ホストD A T例外が、ゲスト・ページ・フレーム実アドレスから導出されたアドレスに関係したことを示すビットを前記変換例外修飾子内に格納することをさらに含む請求項1、2、または3に記載の方法。

【請求項 5】

前記ホストD A T例外が、ゲスト・セグメント・フレーム絶対アドレスから導出されたアドレスに関係したことを示すビットを前記変換例外修飾子内に格納することをさらに含む請求項 1、2、3、または4に記載の方法。

【請求項 6】

請求項 1ないし 5のいずれか一項に記載の方法の全ステップを実行するように適合された手段を含むシステム。

【請求項 7】

コンピュータシステムにおいて実行された場合に請求項 1ないし 5のいずれか一項に記載の方法の全ステップを実行するための命令を含むコンピュータプログラム。